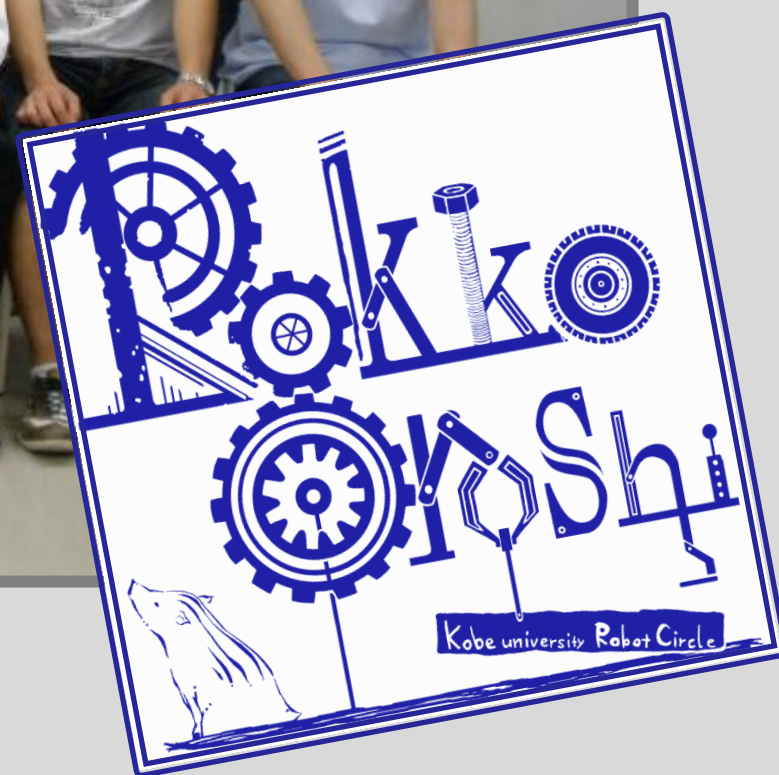
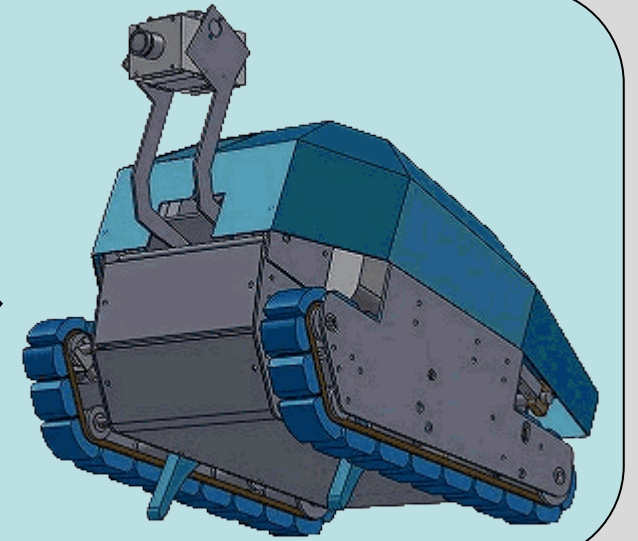


# 神戸大学 六甲おろし

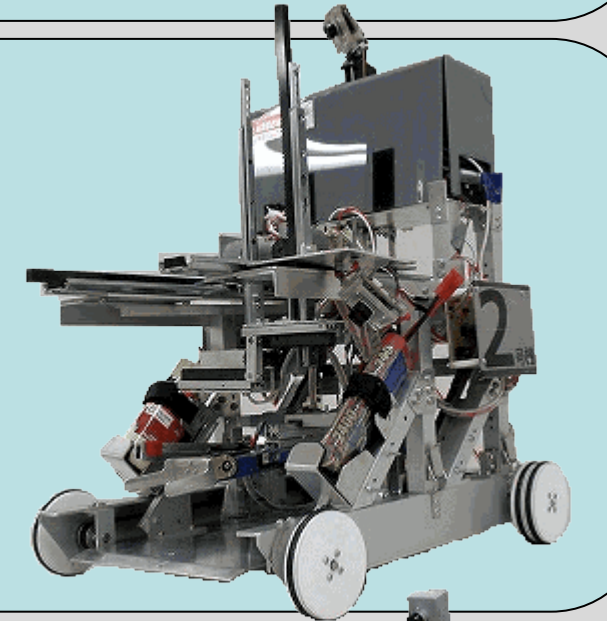
六甲おろしは、神戸大学工学部の学生で構成されています。今年のキャッチフレーズには、前大会でのコンセプト、「**100%の信頼性**」はそのままだ、「**どうすれば要救助者が安心できるか？**」という事に意識を向けた、「**ささやかな気配りを**」と言う一言が追加されています。瓦礫をロボット自身で支え要救助者を守る、音楽を流して心のケアを促す。救助だけでなく、**どうすれば要救助者が安心するのか**を考えて、私達は救助活動に臨みます！



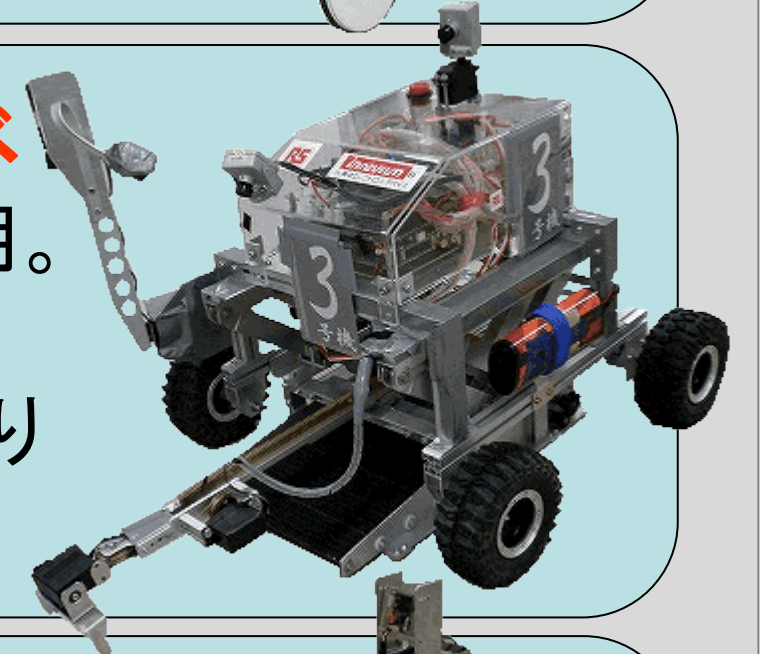
大会史上最小クラスの一号機。その小ささと、**クローラーによる走破性**を生かし、素早く災害地の偵察を行い、他の機体をサポートする。もちろん、救助活動を行う事も可能だ。



足回りをユニット化することで、現場の状況に合わせて、タイヤとクローラーを**すぐに切り替えられる**。また、救助時に**瓦礫が救助者の上に落ちないように支える機構も搭載**。



要救助者に負担を与えないよう、**ベルトコンベアによる救助機構**を採用。また、他にも、**ベッド内部にライトを設置**するなど、要救助者への気配りが考えられている機体だ。



瓦礫除去専用の四号機は、バンパーとアームにより**瓦礫を除去**、状況によっては**自ら搭載する事**が出来る。また、**有毒ガスを排気するためのブロー**も搭載している。

